

## 目標達成に向けた具体的な取り組み

項目	主な施策	取り組み内容	平成29年度	
			目標	結果(10月まで)
1	医師等の人材の確保・育成	(1) 医師の確保 浜松医科大学へ派遣要請を実施する。 研修医を教育できる指導医の増員を図る。	医師の増加人数 1人  指導医数 9人	研修医1人、非常勤循環器医師1人採用。 就学資金新規申込者 1人。 指導医数 8人
		(2) 看護師等の確保 看護学校、高等学校に訪問し就職や就学資金の案内を行う。	看護師、看護補助者採用人数(常勤) 7人	看護師、看護補助者採用人数(常勤) 9人 (退職人数6人)
2	経営感覚に富む人材の登用と人材開発の強化	(1) 職員研修 人材育成のため院内外への研修への参加。 多職種階層別の研修会の実施。	多職種階層別研修会実施数 3回 (新採・中堅・役職者)	多職種階層別研修会実施数 2回 (新採・中堅)
		(2) 職員の意識改革		
		① バランススコアカード(BSC)の活用 職員の業務改善への意識改革を進める。 各部署において数値目標を設定しPDCAにより管理する。	財務の視点 改善金額 年度当初との比較 500万円以上	財務の視点 改善金額 年度当初との比較 1,567万円見込
		② 人事評価による処遇の改善 職員ごとの業務目標を設定した実績評価及び行動評価の評価により、成績優秀者に勤勉手当を加算する。	全職員に勤務評価を行う。	全職員に勤務評価を実施
		③ 他部署他部門との連絡調整 他部署他部門に係る課題が生じたときには調整会議を開催する。	他部署他部門に係る課題数。 年12件以内	防災関係マニュアル見直し 3回 看護業務負担軽減検討 2回
(3) 院内合同研究発表会 研究発表会により能力アップと職員への周知を図る。	研究発表会発表数 5件以上	平成30年2月に実施予定		
3	民間病院との比較	(1) 民間病院並みの効率化 経常収支比率、医業収支比率、給与費対医業収益、材料費対医業収益、減価償却費対医業収益、委託料対医業収益、病床利用率を民間病院並みになれるよう効率化を図る。	7指標の内達成指標数(総務省平成26年度公表数値との比較) 1件以上	7指標の内達成指標数 2件  経常収支比率 材料費対医業収益

項目	主な施策	取り組み内容	平成29年度	
			目標	結果(10月まで)
4	(1)施設・設備の改善等 ①カルテ等の保管	電子カルテシステムの導入等によりカルテ等の保管を長期的に運用できるように検討する。	カルテ等の保管を長期的に運用できる方策を研究する。	医療情報委員会及びワーキンググループを発足して導入準備をしている。
		病院機能を維持するため修繕計画に基づき実施する。平成30年度からの5か年修繕計画を策定する。	施設修繕計画の実施。 5か年修繕計画策定。	平成30年3月までに策定。
	(2)医療機器の計画的購入	稼働率を考慮した計画的な購入をする。	85,000千円以下	予算額 79,519千円
	(3)病院の建設計画の策定	病院の建設計画を検討していく。	公共施設マネジメント推進室と相談協議し検討。	大規模修繕で対応する方針となった。
5	(1)地方公営企業の全部適用	病院事業管理者を中心に経営を改善していく。	病院事業管理者と院長職の兼務を解消する。	平成29年12月1日から専任の病院事業管理者が就任。
	(2)東病棟の利用	3病棟の運用に向け医師、看護師の確保をする。	医師の増加人数1人 看護師、看護補助者採用人数 7人	研修医1人、非常勤循環器医師1人採用。 就学資金新規申込者1人。 看護師、看護補助者採用人数(常勤) 9人(退職人数6人)
	(3)アンケート調査	アンケート調査を毎年実施して満足度や要望等を把握する。	満足度加重平均 1.46以上	満足度加重平均 1.41
6	患者サービスの向上 (1)広報によるお知らせ	ホームページや病院広報紙「きずな」等により医療情報の提供を継続する。	病院広報紙「きずな」の発行 年4回	病院広報紙「きずな」の発行 (年4回予定) 5月、8月、11月、3月
7	収納率の向上 (1)未収金の減少	未収金を発生させないための支払い相談、催告状の送付、臨戸徴収の継続実施。	現年度の未収率 0.45%以内	現年度の未収率 0.98%
8	(1)地域医療機関との連携強化	紹介元の医療機関アンケート調査を実施し要望等を把握する。地域連携パス利用による紹介入院を増加する。	9月までにアンケートを実施。 連携パス利用者数 5人以上	H28年10月に実施。 連携パス利用者数 ガン患者4人(外来)
	(2)認定看護師の活用	感染管理、認知症、皮膚・排泄ケア認定看護師による研修会や出前講座、市民講座を行う。	研修会等の実施 年5回開催	感染:出前6件研修1回 認知:出前2件 皮膚:出前1件
	(3)チーム医療	病棟配属型チーム医療の推進。栄養サポートやリハビリテーションについて協働でカンファレンスを実施していく。	NST委員会開催 年5回開催	NST委員会開催 年5回開催予定 10月までに4回開催。
	(4)服薬指導の強化	病棟ごとの担当薬剤師により持参薬の管理及び安全な薬の飲み方の指導を行う。	病棟担当薬剤師による薬品管理実施率 100%	病棟担当薬剤師による薬品管理実施率 50%
	(5)院内デイケアの充実	病院職員の企画により開催する。	開催回数 週2回以上	5月から週2回開催 延べ48回、173人

項目	主な施策	取り組み内容	平成29年度	
			目標	結果(10月まで)
8 医療・看護等の質の向上	(6) 栄養管理の充実	医師に情報を伝え病状に応じた食事を提供し栄養管理をする。	特別食加算の割合 39.5%以上	特別食加算の割合 43.9%
	(7) 医薬品の適正管理	医薬品の購入量を使用量データに基づき算出する。全国自治体病院の平均値よりも優位になるよう価格交渉をする。	医薬品購入価格の縮減額。 1,500,000円以上	医薬品購入価格の縮減額。 上半期 480,000円
	(8) 健診業務の強化	出向による特定保健指導の実施。 ストレスチェックの実施。	出向特定保健指導の実施事業所 6事業所 ストレスチェックの実施事業所 10事業所	出向特定保健指導の実施事業所 8事業所 ストレスチェックの実施事業所 15事業所
	(9) 高度専門医療の提供	診療所からのCT、MRIの撮影を受託する。	受託件数 1,156件以上 受託金額 14,217,529円以上	10月までの受託件数 672件 受託金額 6,726,567円
	(10) 健診センターと病院との連携	健診センターで検診をしていただいた方が当院の外来で再検査及び診察をスムーズに提供できるように連携する。	住民検診及び人間ドックの実施者の内、診療した場所が湖西病院の割合 62.9%以上	住民検診及び人間ドックの実施者の内、診療した場所が湖西病院の割合(28年度検診) 62.6%
	(11) 災害時の救護	災害時救護病院として機能強化を図るため市消防本部との研修会を開催する。	研修会の実施 年2回開催	消防職員救急研修9人 救急車医師同乗1回
	(12) 在宅医療の推進・強化	病院から在宅医療への支援及び周辺施設との情報・連絡・連携を強化する。	支援体制、連携体制の強化策を立案する。	他施設の情報共有。 退院前カンファレンス。 患者訪問。 浜名病院との連絡会。